

札幌証券取引所: 上場会社説明会

# 「グローバル成長企業」JT

日本たばこ産業株式会社  
IR広報部 IRチームリーダー 田中耕治

2011年12月2日  
証券コード: 2914

ひとの  
ときを、  
想う。 JT

# 本資料取扱上の注意点

## 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。)

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

# 目次

## 会社概要と業績推移

会社概要	・・・4
2011年3月期実績	・・・5
2012年3月期第2四半期決算のポイント	・・・6

## 事業別概況

国内たばこ事業: 販売数量およびシェア	・・・7
: シェア回復に向けて	・・・8
海外たばこ事業: 概要	・・・9
: グローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)	・・・10
: グローバル成長	・・・11
医薬事業    : 概要	・・・12
: 開発の状況	・・・13
食品事業    : 概要	・・・14
: 飲料事業(1)	・・・15
: 飲料事業(2)	・・・16
: 加工食品事業(1)	・・・17
: 加工食品事業(2)	・・・18

## CSR活動

社会・環境への取り組み	・・・19
-------------	-------

## 株主様への取り組み

株主還元	・・・20
株主優待・株主様とのコミュニケーション	・・・21

# 会社概要

- 名称 日本たばこ産業株式会社
- コミュニケーションネーム JT
- 設立 1985年4月1日
- 資本金 1,000億円
- 本社所在地 東京都港区虎ノ門2-2-1
- 従業員<sup>1)</sup> 48,472人(連結) 8,928人(単体)
- グループ会社数<sup>2)</sup> 連結子会社:239社

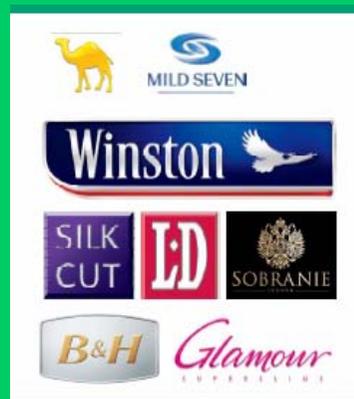


虎ノ門本社ビル

## 国内たばこ事業



## 海外たばこ事業



## 医薬事業



## 食品事業



1) 2011年3月末

2) 2011年9月末

# 2011年3月期実績

## 事業別売上高・EBITDA

【2010年度売上高構成比(調整後) : 1兆9,469億円】 (注1)(注2)



【2010年度EBITDA(利益)構成比 : 5,425億円】 (注1)(注3)



(注1): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国事業等を除く  
海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を除く

(注3): EBITDA = 営業利益 + 償却費

# 2012年3月期第2四半期決算のポイント

## サマリー

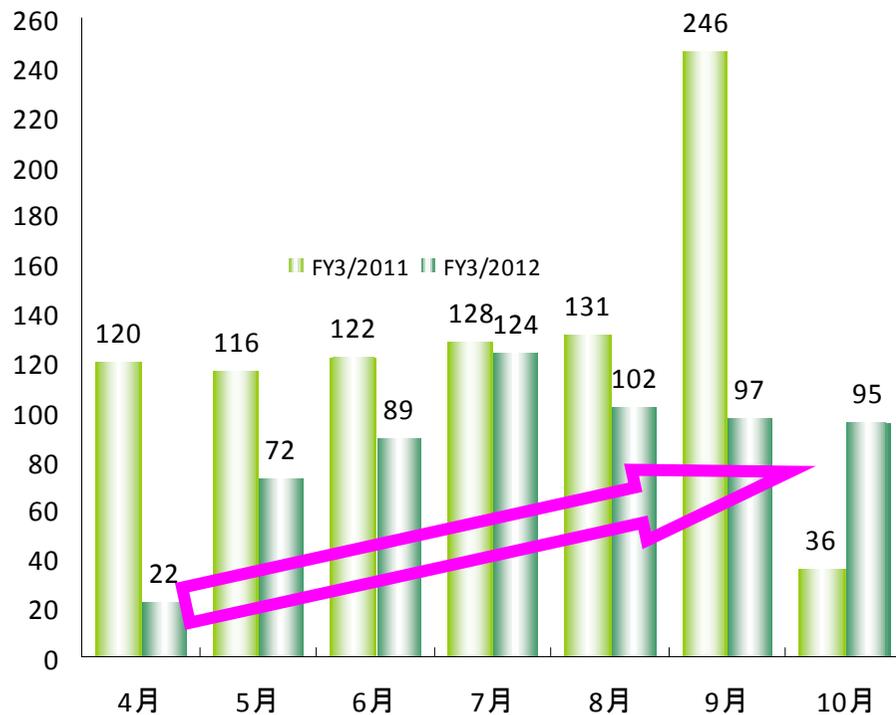
- 国内たばこ事業は震災影響から着実に回復途上  
シェア回復に取り組み、年度末3月単月で60%をめざす
- 海外たばこ事業は足元7-9月速報値においても、トップライン成長が牽引し、好調に推移  
為替中立ドルベースEBITDAの対前年14%成長を見込む。
- 医薬事業は後期開発品が充実(JT導入品目1品目がPh3、海外導出品目3品目がPh3以  
降)、JTK-303が導出先において米国FDAに承認申請
- 食品事業は基幹ブランド「ルーツ」、ステープルが引き続き堅調に推移し第2四半期累計実績は  
増益
- 中期経営計画「JT-11」の目標である全社EBITDA年平均5%成長の達成に向け最大限努力し  
ていく所存

# 国内たばこ事業：販売数量およびシェア

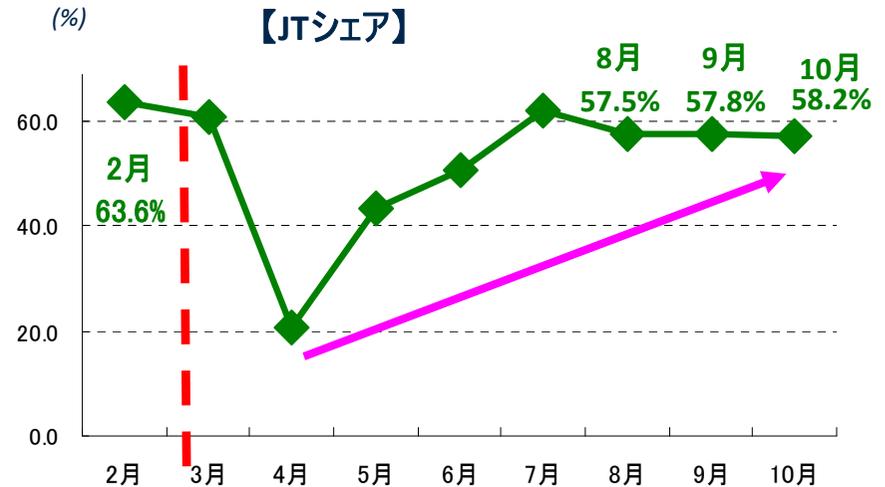
供給の再開とともに、販売数量・市場シェアは着実に回復

【国内たばこ事業月別販売数量<sup>1)</sup>】

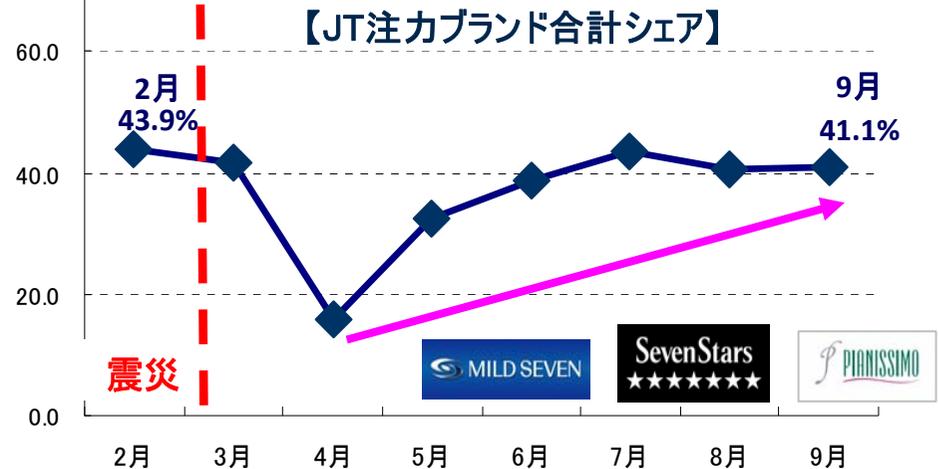
(単位：億本)



【JTシェア】



【JT注カプブランド合計シェア】



1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

# 国内たばこ事業：シェア回復に向けて

## 新商品の投入・リニューアル



＜無煙たばこ＞  
ゼロスタイル・ミント  
(12月上旬リニューアル)



＜無煙たばこ＞  
ゼロスタイル・ビターリーフ  
(12月上旬新発売)



＜リニューアル＞  
キャビン・ファミリー5銘柄  
(11月上旬実施)



＜スーパースリム商品＞  
マイルドセブン・スタイルプラス・6  
(1月中旬新発売)



＜スーパースリム商品＞  
セブンスター・  
カッティング・メンソール  
(8月下旬新発売)



＜カプセル搭載＞  
ピアノッシモ・  
ヴィヴ・メンソール  
(11月上旬新発売)



＜リニューアル＞  
セブンスター・  
アラスカ・メンソール  
(10月下旬実施)



＜スーパースリム商品＞  
マイルドセブン・スタイルプラス・ワン  
(1月中旬新発売)

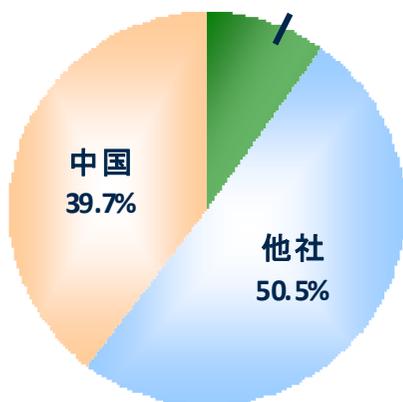
このスライドは投資家に事業を説明する目的で作成されたものです。  
消費者へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません。

# 海外たばこ事業：概要

## グループの利益成長を引き続き牽引

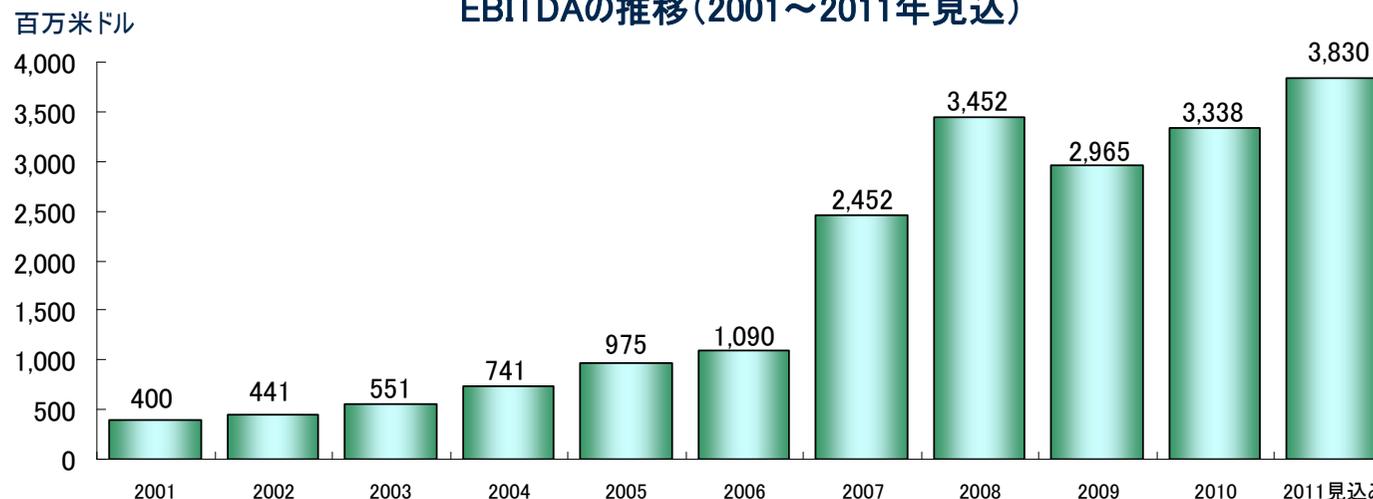
- 約10億本の販売数量から海外たばこ事業がスタート(1985年)
- 1999年：RJRナビスコから米国外のたばこ事業を買収
- 2000年-2006年：一貫した戦略の遂行により6年連続2桁の利益成長を実現
- 2007年：ギャラハー社買収
- 現在、120カ国以上の国と地域で事業を展開
- 2010年度の販売数量は4,284億本

各社シェア(2010年) JT Group 9.8%



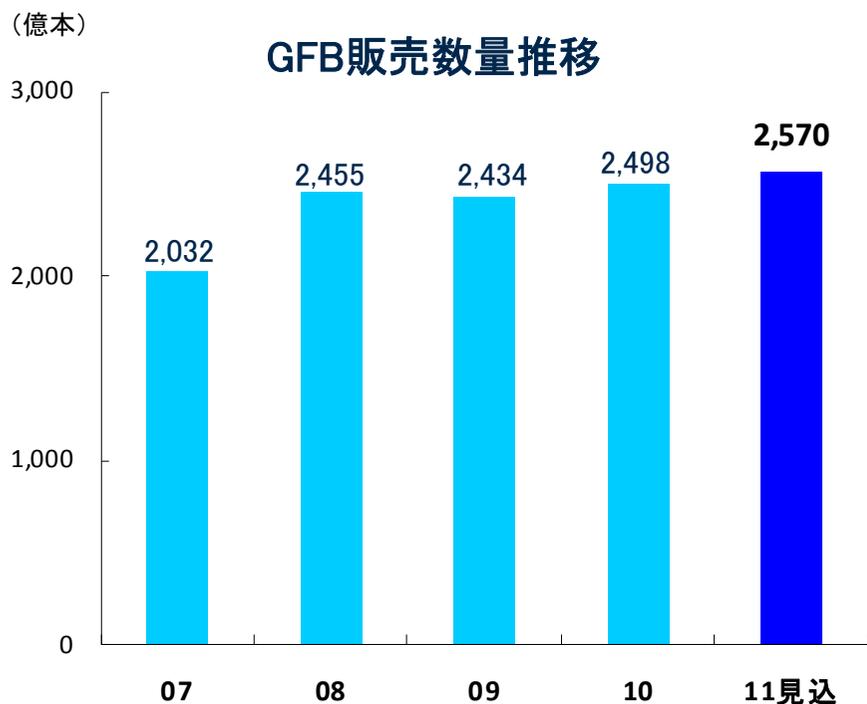
出典：Euromonitor

EBITDAの推移(2001～2011年見込)



# 海外たばこ事業：グローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)

JTIポートフォリオの中核を担うGFBが質の高いトップライン成長を牽引



## Engine

JTIの成長を支える  
ブランド



## Stronghold

各地域で強い  
プレゼンスがあり  
競争力を高め  
ているブランド



## Future Potential

将来の力強い  
成長が期待  
できるブランド



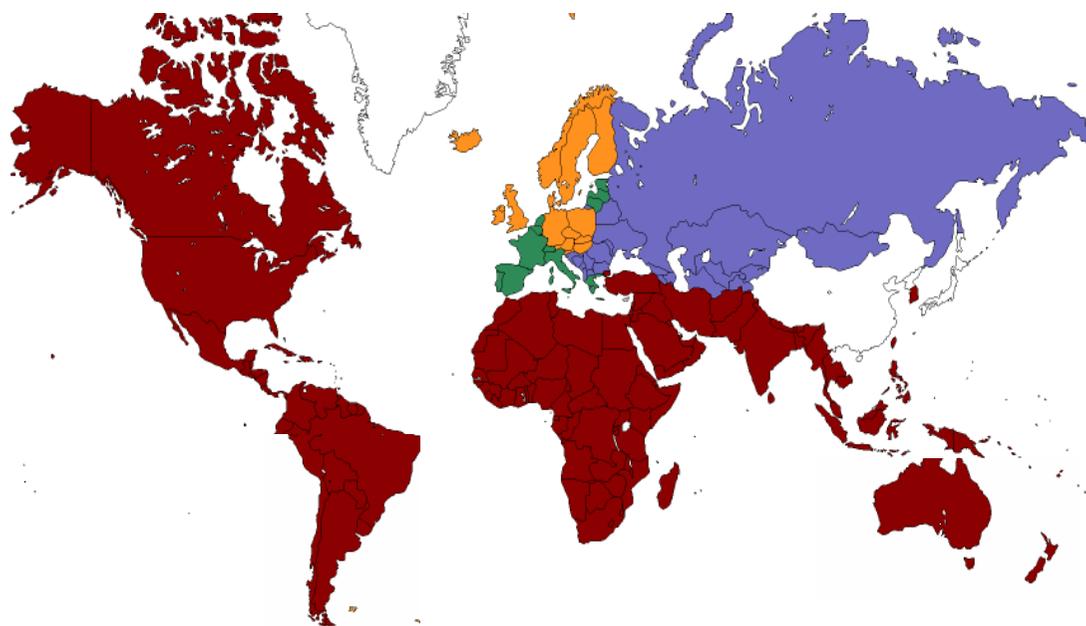
# 海外たばこ事業：グローバル成長

## 地域別販売数量と主要市場におけるシェア順位

North & Central Europe			
490億本			
市場順位			
英国	第2位	アイルランド	第1位
オーストリア	第2位	スウェーデン	第1位

South & West Europe			
632億本			
市場順位			
スペイン	第3位	フランス	第3位
イタリア	第3位	ギリシャ	第3位

CIS+			
2,036億本			
市場順位			
ロシア	第1位	カザフスタン	第2位
ウクライナ	第2位	ルーマニア	第3位



Rest of the World			
1,127億本			
市場順位			
台湾	第1位	マレーシア	第2位
トルコ	第3位	カナダ	第3位

# 医薬事業：概要

## 取り組み・方針

- 後期開発品を含む臨床開発力の強化と創薬研究力の更なる向上
- 導出入活動の充実と海外パートナーとの連携強化
- 鳥居薬品(株)とのパートナーシップにより、相乗効果を最大化

### JTの重点研究開発領域



# 医薬事業：開発の状況

## JTK-303の配合剤、導出先にて「米国食品医薬品局」に申請中

臨床開発品目（2011年10月31日現在）

開発名	主な適応症	開発段階	権利
JTK-303 (経口)	HIV感染症	国内：申請準備中 (配合錠として)	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社では申請中(配合錠として))
JTT-705 (経口)	脂質異常症	国内：Phase2	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出(同社ではPhase3)
JTT-130 (経口)	脂質異常症	国内：Phase2 海外：Phase2	
JTT-302 (経口)	脂質異常症	海外：Phase2	
JTT-751 (経口)	高リン血症	国内：Phase3	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導入(鳥居薬品と共同開発)
JTK-853 (経口)	C型肝炎	海外：Phase1	
JTT-851 (経口)	2型糖尿病	国内：Phase1	
JTZ-951 (経口)	腎性貧血	国内：Phase1	

### 【導出先における開発状況】

**JTK-303：ギリアド・サイエンシズ社(米国)へ導出、  
同社で配合錠として申請中**

JTT-705：ロシュ社(スイス)へ導出、  
同社でPhase3

MEK阻害剤：GSK社(英国)へ導出、  
同社でPhase3

抗ICOS抗体：メディムーン社(米国)へ導出、  
同社でPhase1

新規臨床入り

# 食品事業：概要

## 取り組み・方針

- 一番大切な人に食べてもらいたい」という想いで、「お客様においしく、安心してお召し上がりいただける」商品づくり
- 飲料・加工食品・調味料事業の3分野に注力し、最高水準の安全管理に向けた取り組みを推進するとともに将来の成長に向けた事業基盤の更なる強化

### ■ 飲料事業

- 基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化
- ジャパンビバレッジを中心とした販売網充実
- 事業全般にわたる効率化を通じて、収益基盤の強化を図る

### ■ 加工食品・調味料事業

- ステープル(主食)や調味料(酵母エキス)への戦力集中により収益力を向上
- 原料調達から製造・販売までのバリューチェーン強化を引き続き推進

### ■ 最高水準の食の安全管理の推進

- 「リスク低減に向けた取り組み」
- 「お客様への対応の強化」
- 「組織・体制の強化」

# 食品事業：飲料事業(1)

## 基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化

- 2010年秋に10周年を迎えた基幹ブランド「ルーツ」に注力
- ルーツ10周年を機に「アロマインパクト」シリーズを新発売
- 主力商品の「アロマブラック」をはじめ、ボトル缶コーヒー「No.1」を訴求



【ショート缶：ルーツアロマインパクトシリーズ】



【ボトル缶】



## 食品事業：飲料事業(2)

### ロングセラー商品を含む多彩な商品ラインアップ

- 京都宇治の老舗茶舗「辻利」の協力を得て開発した「辻利」ブランド
- ドールとの提携商品やロングセラー商品を含む商品ラインアップ
- JTウェブサイトでは「自動販売機設置のご案内」も



# 食品事業：加工食品事業(1)

## ステープル(主食)や調味料への戦力集中

- 2010年1月に「テーブルマーク」に社名変更
- 「冷凍麺」「米飯」「冷凍パン」といったステープル(主食)に集中。



## 食品事業：加工食品事業(2)

### 最高水準の食の安全管理の推進

- 2010年から稼動を始めた、新潟県魚沼市の「魚沼水の郷工場」
- 主力商品である「冷凍うどん」「パックご飯」の製造ライン見学が可能



A promotional graphic for the Uonuma no Sato Factory tour. It features a cartoon illustration of a family (a man, a woman, a girl, and a boy) standing in a field of yellow rapeseed flowers. In the background, the factory building is visible. A speech bubble above the man says "予約制!" (Reservation required!). To the right, there are images of packaged products: a bag of frozen udon and a box of packed rice. The text at the bottom reads "うおぬまみすのさと 「魚沼水の郷工場」 工場見学のご案内" (Uonuma no Sato Factory Factory Tour Guide).

# CSR活動：社会・環境への取り組み



## ■喫煙スペースの設置とマナー啓発活動

全国の自治体と協働で喫煙スペースを設置することにより、ポイ捨て防止や喫煙マナーの向上に取り組むとともに、“あなたが気づけばマナーは変わる”をキャッチフレーズに、マナー広告を通してたばこを吸われる方の周囲への配慮、たばこを吸われない方への気遣いの必要性を訴えています。



## ■ひろえば街が好きになる運動

2004年から、ごみを「ひろう」という体験を通じて「すてない」気持ちを育てたいという願いを込めて実施しています。



## ■社会福祉/文化・芸術/環境保全/被災地域への支援

社会と共生する「良き企業市民」を目指して、「社会福祉」「文化・芸術」「環境保全」「被災地域への支援」を重点4分野とし、社会貢献活動に取り組んでいます。東日本大震災の被災地域に対しては、様々な支援を実施しています。



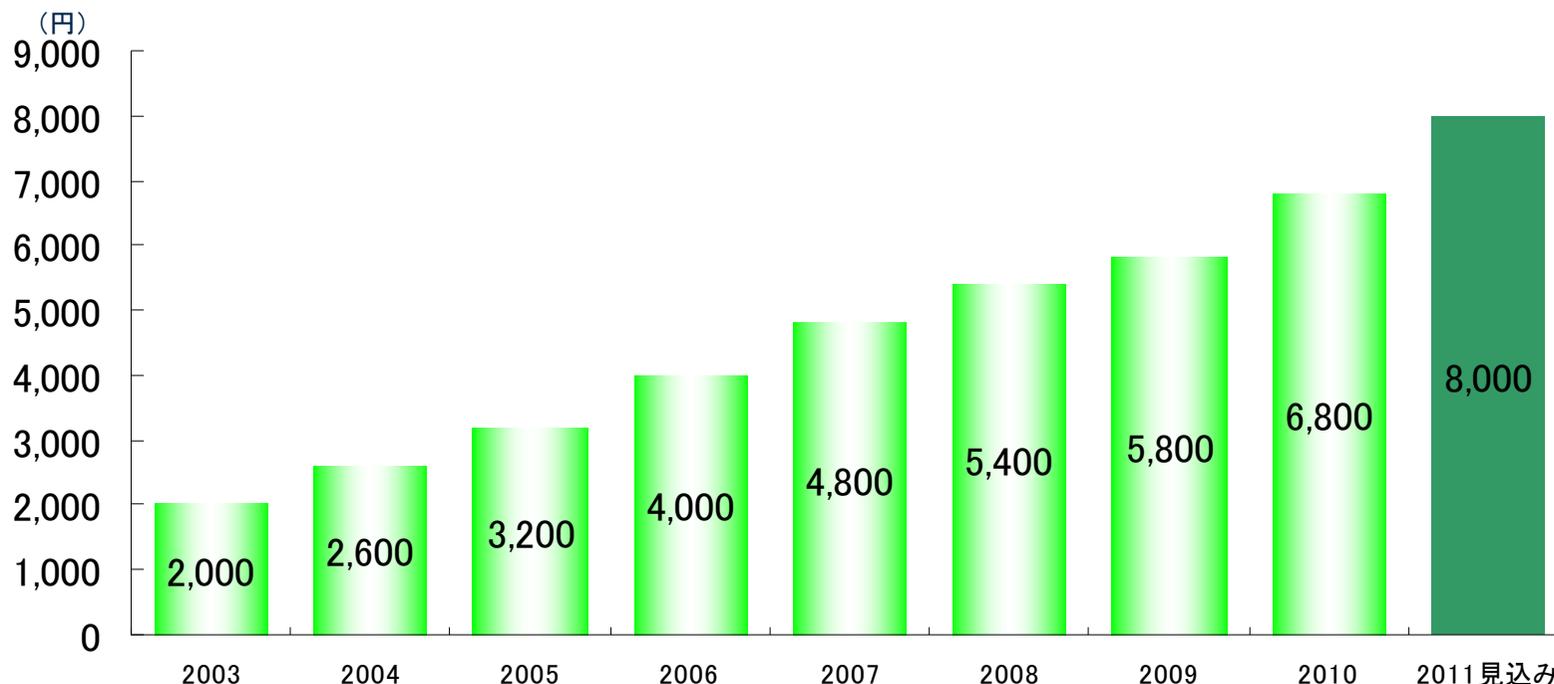
## ■森林保全活動

事業を支えてくれる自然への感謝の想いと企業の社会的責任を果たす観点から、国内9ヶ所、海外4ヶ国で植林/森林保全活動を行っています。

# 株主還元

中期経営計画「JT-11」で掲げた中期的な目標であるのれん償却影響を除く連結配当性向30%を11年度に達成する見込み

## ■ 1株当たり配当金の推移



のれん償却除き 当期純利益 (億円)	-	-	-	-	2,425	2,289	2,358	2,333	2,420
配当性向 (%)	(252.1)	40.5	15.2	18.0	19.0	22.6	23.6	27.9	31.5
配当金 (円)	2,000	2,600	3,200	4,000	4,800	5,400	5,800	6,800	8,000

※2006年4月1日に1:5の株式分割を実施。2006年3月以前の配当は遡及して修正。  
 ※2009年度の配当金は、会社設立25周年記念配当(200円)を含む。

# 株主優待・株主様とのコミュニケーション

## ■株主優待

### ■年2回、当社グループ商品を選択制にて贈呈

- 1株以上保有の株主様に2,000円相当の当社グループ商品
- 5株以上保有の株主様に3,000円相当の当社グループ商品(下記に掲載)



①飲料及びご飯詰め合せセット



②ご飯詰め合せセット



③ジェントリースープ及び調味料詰め合せセット

**東日本大震災の復興支援に対する寄付**

1株～4株の株主様：  
優待品に代えて2,000円を寄付

5株以上保有の株主様：  
優待品に代えて3,000円を寄付

④東日本大震災の復興支援に対する寄付

## ■株主様とのコミュニケーション



### ■個人投資家向けホームページの新設



### ■業績報告書(年4回発行)

# JT=「グローバル成長企業」

弊社に関する更に詳しい情報は:

<http://www.jti.co.jp/>



個人投資家様向けホームページ:

<http://www.jti.co.jp/investors/individual/index.html>



弊社の飲料製品は下記サイトにてお求めいただけます:

<http://www.shopjt.com/>

また、テーブルマークの加工食品は下記サイトにてお求めいただけます:

<http://www.tablemark.co.jp/online/index.html>

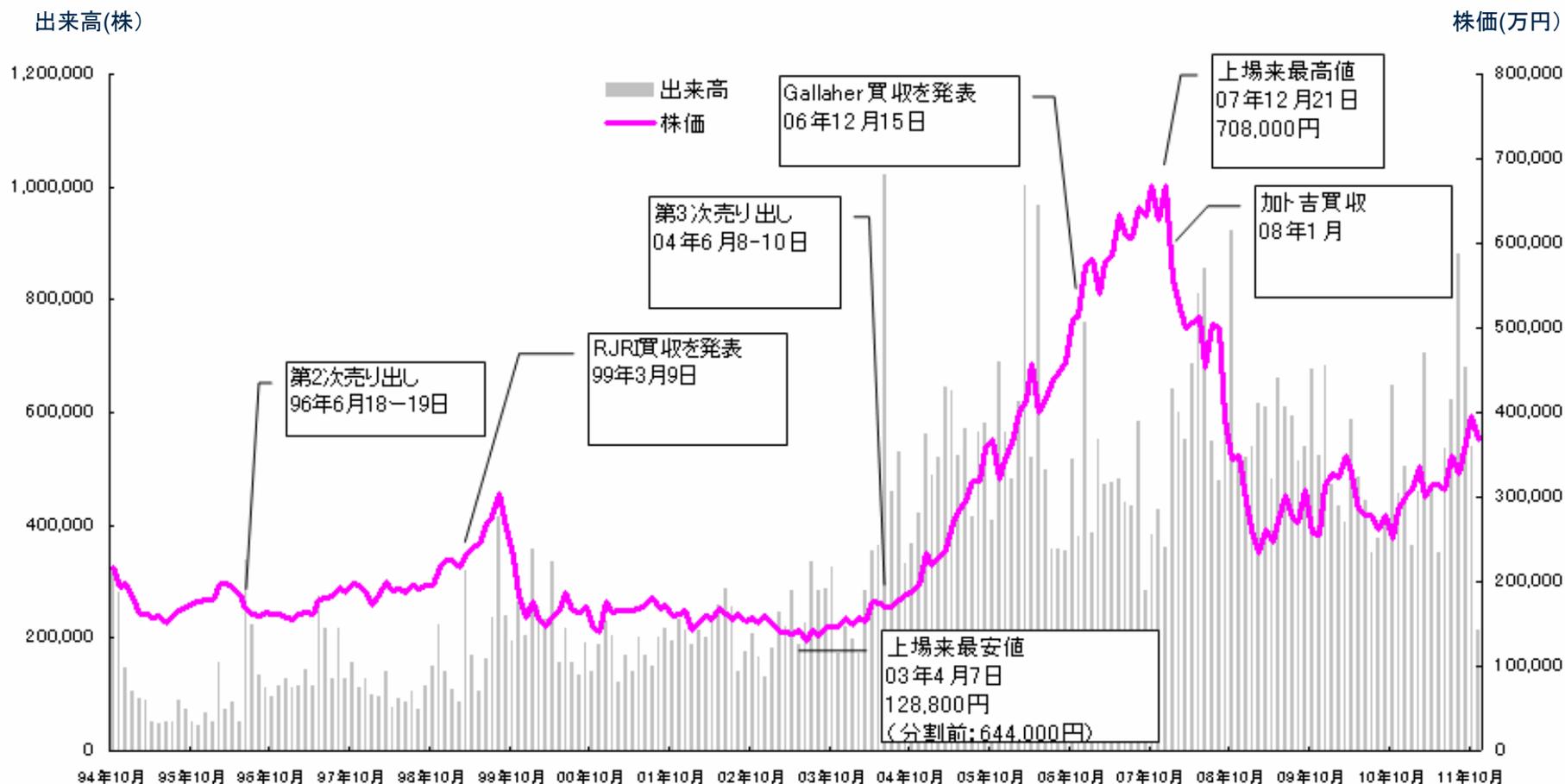


---

# 参考資料

## (参考1) 株価動向①

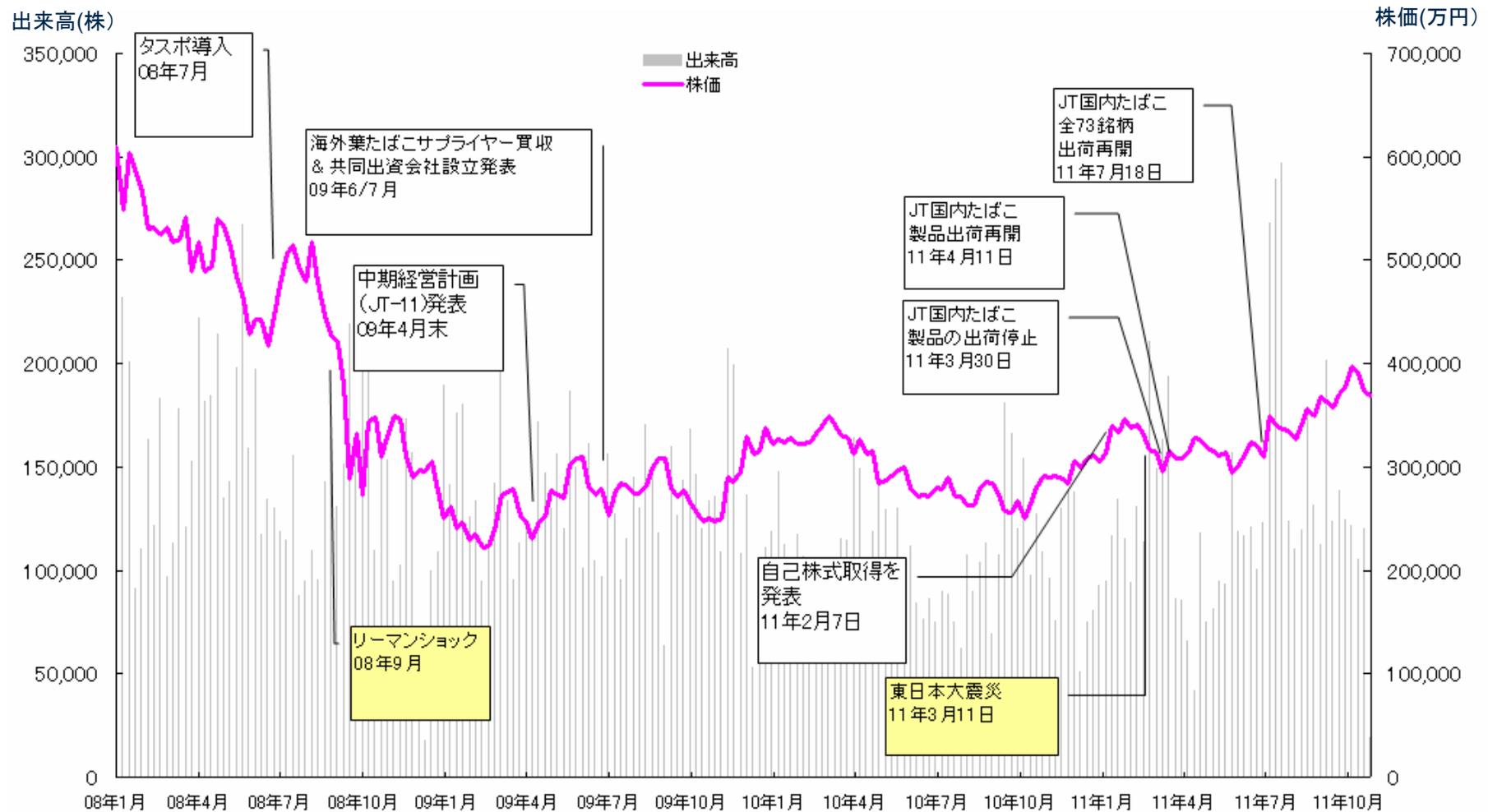
### ■ 株価動向※(月間、終値)【1994年10月1日上場時～2011年】



(注)2006年4月1日を効力発生日として、  
1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、  
株価は調整後株価で表示。

## (参考2) 株価動向②

### ■ 株価動向(週間、終値)【2008年1月1日～2011年11月】



## (参考4) 全社業績：2012年3月期 第2四半期累計実績

(単位:億円)	2010年 4-9月期 <sup>2)</sup>	2011年 4-9月期	増減		2010年 4-9月期 <sup>2)</sup>	2011年 4-9月期	増減
調整後売上高 <sup>1)</sup>	10,301	9,403	<b>-8.7%</b>				
EBITDA	3,071	2,961	<b>-3.6%</b>	<参考:のれん償却前>			
営業利益	2,006	1,930	<b>-3.8%</b>	営業利益	2,468	2,356	<b>-4.5%</b>
経常利益	1,864	1,925	<b>+3.2%</b>	経常利益	2,326	2,351	<b>+1.1%</b>
四半期純利益	813	958	<b>+17.9%</b>	四半期純利益	1,275	1,385	<b>+8.6%</b>

- 国内たばこ事業における販売数量の減少および海外たばこ事業における為替のマイナス影響により減収、国内たばこ事業・海外たばこ事業における単価上昇効果等が一部相殺したもののEBITDA、営業利益は減益
- 経常利益および四半期純利益は増益

1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除

2)海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

## (参考5)2012年3月期 全社業績予想

	2011年3月期 実績 <sup>2)</sup>	2012年3月期 前回見込	2012年3月期 今回見込	対前回見込 増減	対実績 増減率
(単位: 億円)	a	b	c	c-b	(c-a)/a
調整後売上高 <sup>1)</sup>	19,469	19,150	<b>18,950</b>	- 200	-2.7%
EBITDA	5,425	5,500	<b>5,370</b>	- 130	-1.0%
営業利益	3,332	3,360	<b>3,290</b>	- 70	-1.3%
経常利益	3,130	3,240	<b>3,180</b>	- 60	+1.6%
当期純利益	1,453	1,610	<b>1,610</b>	+0	+10.8%
ROE(%)	9.2%	10.4%	<b>10.4%</b>	+0.0ppt	-
FCF*	2,997	3,000	<b>3,120</b>	+120	+4.1%
【のれん償却影響前】					
当期純利益	2,333	2,460	<b>2,420</b>	- 40	+3.7%
EPS(円)	24,378円59銭	25,836円34銭	<b>25,416円23銭</b>	-420円11銭	+4.3%
1株当たり配当金(円)	6,800	8,000	<b>8,000</b>	+0	+17.6%
配当性向(%)	27.9%	31.0%	<b>31.5%</b>	+3.6ppt	-

\*FCFの2012年3月期前回見込・今回見込には期末休日影響による国内たばこ税納付の繰越影響等期ずれ要因1,000億円強が含まれる

- 国内たばこ事業における販売数量の上方修正、海外たばこ事業における単価上昇効果を見込むものの、為替のマイナス影響が上回り、売上高、EBITDA、営業利益、経常利益は下方修正
- 当期純利益は変更なし

1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除

2)海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

---

(このスライドは空白です)